

令和4年(2022年)7月 青果部 主要品目の市況

	種類	品名	市況の概要	2022年7月 数量 (トン)	2022年7月 平均単価 (円)	前年同月比 数量	前年同月比 平均単価
1	野菜	人参	北海道(函館)産、青森県産中心の入荷でした。天候不順により、入荷量はやや減少しました。平均単価は大幅に高く推移しました。	454	174	98%	166%
2		キャベツ	群馬県(嬭恋)産・長野県産・岩手県産中心の入荷でした。やや遅れ気味の出荷となった影響で数量は減少しました。平均単価はやや高く推移しました。	797	77	78%	107%
3		トマト	前半は順調な出荷状況であったが、後半は高温の影響により全体的な数量は減少しました。平均単価は前年並みで推移しました。	543	318	85%	100%
4		なす	群馬県産・栃木県産中心の入荷でした。数量は前年並みで、平均単価は高く推移しました。	130	372	102%	113%
5		たまねぎ	兵庫県産・香川県産・佐賀県産・和歌山県産中心の入荷でした。出荷状況が悪く数量はかなり減少しました。平均単価はかなり高く推移しました。	322	178	60%	144%
6	果実	西瓜	高温多湿な天候の影響により、多少波はあったものの、終始旺盛な需要に支えられ相場も堅調に推移しました。数量、平均単価ともにやや増加しました。	714	248	104%	109%
7		メロン	上旬は関東産、下旬は東北産中心の入荷でした。数量はやや増加し、平均単価はやや安く推移しました。	177	444	104%	91%
8		桃	作付面積が主力の山梨を中心に減少、また、中旬の多雨で生理落下等等が進み数量は減少しました。平均単価は高く推移しました。	224	768	86%	114%

【増減基準】

- ①並み、横ばい:(+-)0~2%
- ②やや増加(減少):(+-)3~10%
- ③増加(減少):(+-)11~20%
- ④かなり増加(減少):(+-)21~50%
- ⑤大幅に増加(減少):(+-)51%以上